

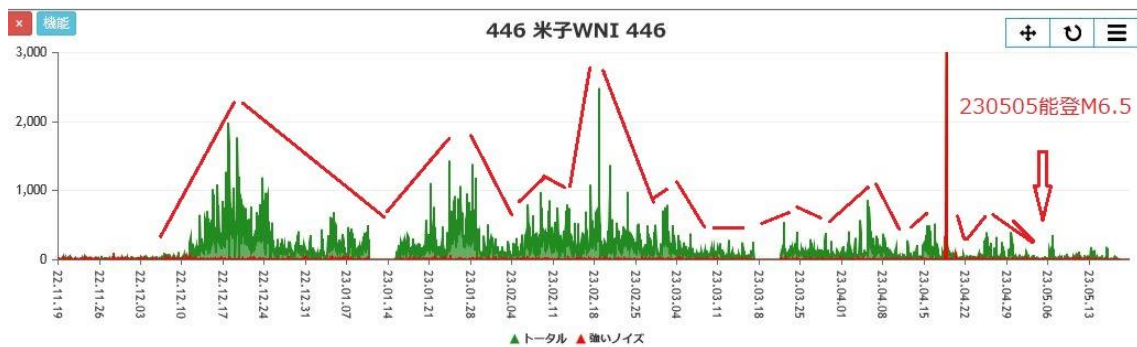
5月5日に発生した能登地方 M6.5 の大地震の前兆データとして、日本海側の富山、米沢のデータ（180日間）のほか、以下のように伊勢 B262、伊勢 D484、和歌山一A の360日間データがほぼ同時期に減衰一収束しており、またそれぞれのデータを30日から90日に拡大してみても同時期に減衰一収束していることがわかります。従ってこの大地震の前兆のデータは180日間から360日間、約半年から1年の長期に渡って地中のエネルギーが蓄えられてきたものと考えられます。

5月5日の能登地方 M6.5 の大地震の、その後、次の大地震については それぞれのデータを見ても、いまだ十分なエネルギーが溜まっていないと考えられますが、和歌山一Aの最近の山を作ったデータや富山の5/18の幅のある1本立ちなど、次の地震に関係しそうな動きが見られます。以下に5/18段階の最新のデータを載せますので参考にしてください。

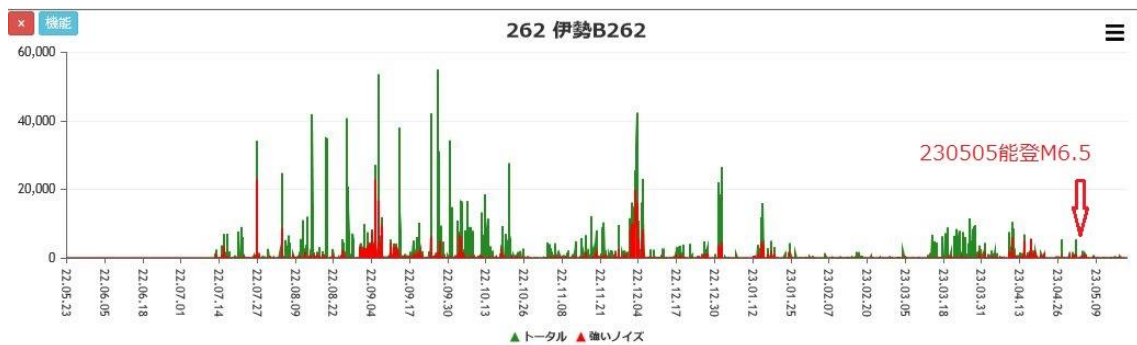
富山 180日間データ



米子 180日間データ



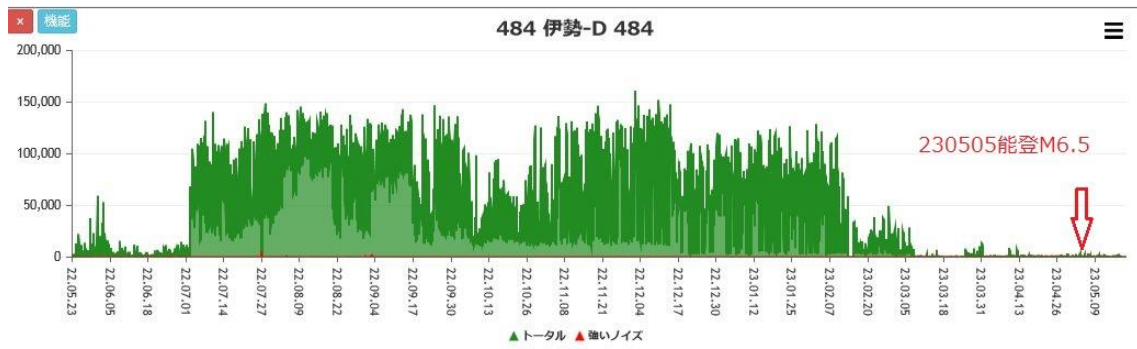
伊勢 B262 360日間データ



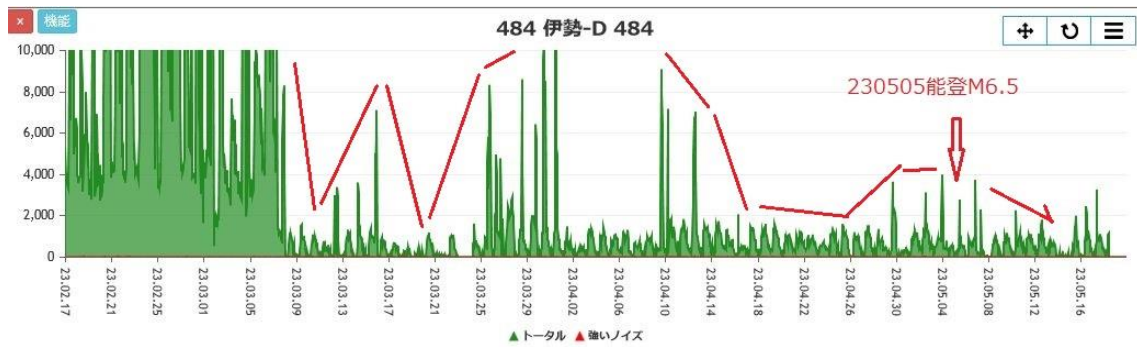
伊勢 B262 90日間データ



伊勢 D484 360日間データ



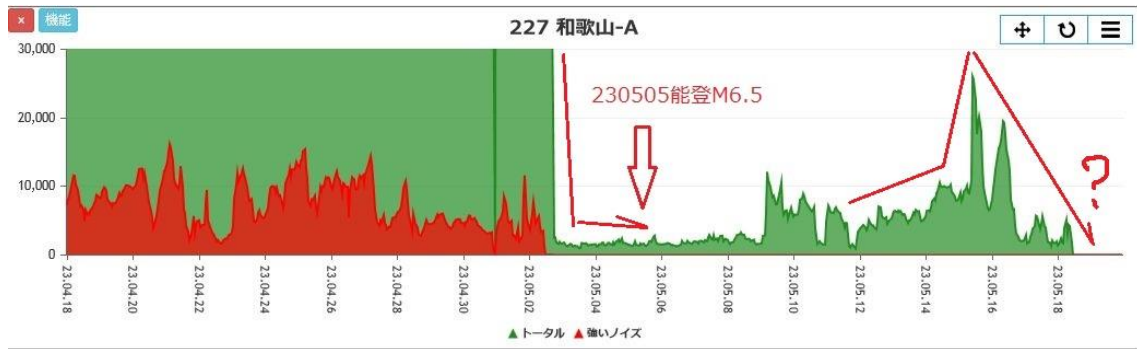
伊勢 D484 90日間データ



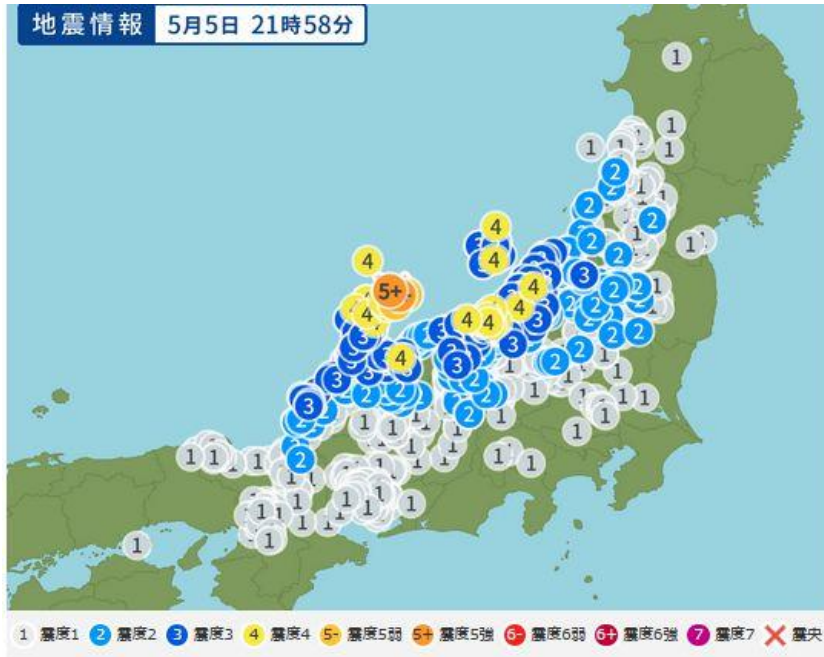
和歌山-A 360日間データ



和歌山一A 30日間データ



2023年5月5日能登地方 M6.5 最大震度5強



発生時刻	2023年5月5日 21時58分ごろ
震源地	石川県能登地方
最大震度	5強
マグニチュード	5.8
深さ	10km